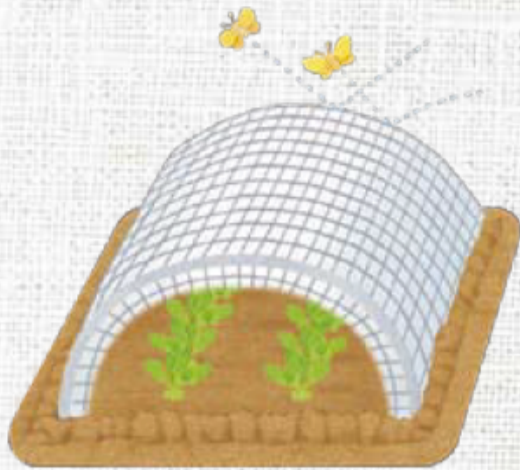


3 害虫防除

- べたがけ資材や防虫ネットなどで防除。夏の高温対策としてもよい。



育ちが早く、収穫までの日数が短いので、農薬を使わなくても十分作れる。

4 収穫

- 葉の長さが15cm以上に伸びたら収穫。



株ごと引き抜き収穫

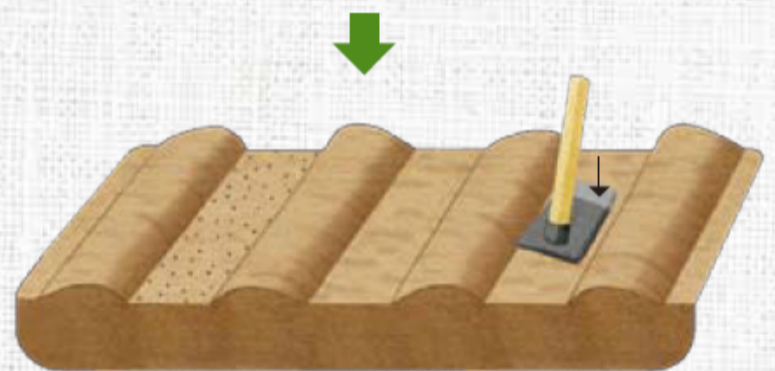
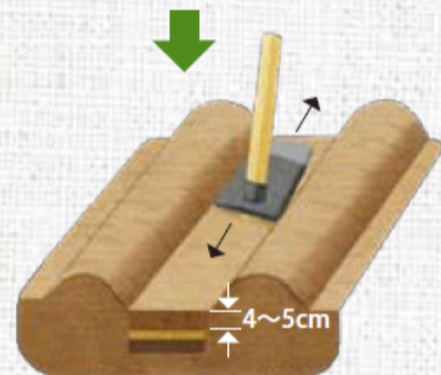
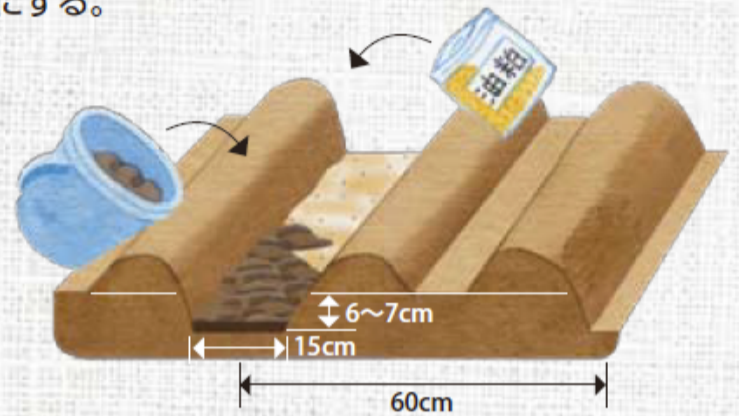
少量ずつ利用する場合には、葉を摘み取り収穫する。新芽やわき芽が再生してくる。



少量なら鉢利用で簡単に作れる。浅型の素焼き鉢に園芸用土を入れ、ときおり液肥を与えて育てる。収穫は込み合わないうち早めに。

1 畑の準備・種まき

- 溝の長さ1m当たり堆肥3~4握り、油粕大さじ2杯をまいて耕す。
- 肥料の上に4~5cm土をかけてから、鍬を前後に動かして溝の底面を平らにし、2cm間隔くらいにばらまく。
- 覆土は0.7~1cmの厚さにし、その上から鍬の背面で軽く鎮圧する。本葉2枚の頃間引いて4~5cm間隔にする。



2 追肥・中耕

- 畝の長さ1m当たりに化成肥料を大さじ2杯、畝間にばらまいて鍬で中耕しながら土に耕しこむ。

